



体力向上優良校

県教育委員会から3年連続での受賞です。持久走大会を目前に、寒い中でも始業



前から自主的に外周を走る子供たちの様子に納得がいきます。

人権なかよし集会

児童会企画委員会の児童が運営を行いました。初日の11月24日は、

1年生「くまくんはひとりぼっち」「いくらしょう1ねん1くみ、なかよし大きくせん」、

3年生「お母さんの仕事」、

5年生「みなまたの木」「この子とともに」

ひまわり学級「じぶんのじんけんスローガン」、

27日は、

2年生「ぼくのランドセル」、

4年生「みんなへ言いたいこと」、

6年生「平和学習」、

学習会参加児童「くつかくしのこと」

という教材で学習した内容の発表でした。

両日ともその場で返しの言葉を発表する児童がいる一方で、企画委員会の児童は事前に発表内容を読み込んだ上で、しっかりと返しの手紙にまとめて発表してくれました。それを聴く発表者の児童の表情が「伝わった、発表してよかった」という満足感、達成感に輝いていました。



6年生の発表の中に「心の平和」という言葉がありました。インパクトとしては大きくはないこの言葉に私は着目しました。心の平和とはどのような意味でしょうか。

「豊かな心」とか「心の豊かさ」と言われることがあります。心の平和とは、豊かな心や心の豊かさとも通じるのではないのでしょうか。心の平和とは、自分の心を穏やかな状態で大切にできていること。それは自分の都合だけで自分を甘やかすことではないでしょう。そうした自覚を持っていることを前提とするならば、本当の意味で自分を大切にできる人は、身近な人を大切にできるはずです。身近な人とは集会の際であれば、偶然前後左右に隣り合わせで座っている友だちです。

本校の目指す児童像「自分の大切さとともに相手を大切に思う豊かな心を持った児童(徳育)」が着実に育っていると実感できる要の人権学習を踏まえ、その成果を共有できた人権なかよし集会でした。一人一人の児童の確かな変わり目、成長の節目にできた人権なかよし集会でした。

12月4日から10日(人権デー)までは人権週間です。改めて人権について考え、話し合う機会にされてみてください。